

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 小石 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

本校の実技調査の結果は、男子、女子ともにほとんどの種目で向上した。また「運動やスポーツが好き。」「体育の授業は楽しい。」との質問に対して肯定的回答の割合がとて高かった。一方で、学校のない土、日曜は、全く運動をしない児童と2時間以上運動をする児童とに二極化されつつあり、運動量と総合評価が比例している。土、日に運動時間が0分の児童もいてどうやって運動量を確保するかが課題である。また、運動が好きな児童ほど、1週間の総運動時間が多いことから体力を上げるには、運動を好み、自ら体を動かすことが大切であることが分かる。そのためには、運動の技能だけを指導するのではなく、体を動かす楽しさを教えることが必要になる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

準備運動として、北九州市体力向上プログラムでしめされているV字ジャンケン、ジャンプアップ運動、ジャンケン立ち幅とびなどを行うことにより課題となっている立ち幅とびと上体起こしの向上を図る。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

毎朝ランランタイムで運動場を5分間走っている。また毎週火曜日の朝、縦割りりで外で遊びながら、体を動かす楽しさを味わっている。1週間の総運動時間が多い児童ほど、総合評価が高いということを学校だより、学年だより、学級だより等で保護者に知らせ、また、懇談会などでも啓発していく。